

&lt; 認知症対応型共同生活介護用 &gt;

**評価結果報告書****地域密着型サービスの外部評価項目構成**

. 理念に基づく運営	項目数	11
1. 理念の共有		2
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を実践するための体制		3
5. 人材の育成と支援		2
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		6
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		2
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		11
1. その人らしい暮らしの支援		9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
	<b>合計</b>	<b>30</b>

事業所番号	4670102534
法人名	有限会社 いこいの広場
事業所名	グループホーム いこいの広場
訪問調査日	平成20年1月23日
評価確定日	平成20年4月14日
評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま

**項目番号について**

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

**記入方法**

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけます。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

**用語の説明**

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年1月28日

## 【評価実施概要】

事業所番号	鹿児島県第4670102534		
法人名	有限会社 いこいの広場		
事業所名	グループホーム いこいの広場		
所在地	鹿児島県鹿児島市下福元町5273番地1号 (電話)		
評価機関名	特定非常利活動法人NPOさつま		
所在地	鹿児島市下荒田2丁目48番13号		
訪問調査日	平成20年1月23日	評価確定日	平成20年4月14日

【情報提供票より】(19年11月7日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成13年10月25日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	13 人	常勤	6 人, 非常勤 7 人, 常勤換算 5.8 人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての	1 階部分	

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	日 1,000 円	その他の経費(月額)	無	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,000円		

### (4) 利用者の概要(11月7日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名	
要介護1		名	要介護2		名	
要介護3	5 名		要介護4		4 名	
要介護5		名	要支援2		名	
年齢	平均	80.5 歳	最低	67 歳	最高	95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	坂之上生協病院	坂之上病院	上妻歯科医院
---------	---------	-------	--------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市郊外の住宅地の中に解けこんで、地域の一般家庭として開設されているホームである。管理者である施設長と看護師のご夫婦がホームの2階に居住しているため、利用者、夜勤の職員に安心感がある。職員は利用者がその人らしく、家庭的な環境の中で生活できるケアとは？を探求しながら同じ目的意識を持ち日々のケアに傾注している。職員の自己研鑽意欲も高く、ヘルパー職から介護福祉士の資格を取得した職員や、ケアマネジャーの資格取得に挑戦し続けている職員もいる。常に前向きな姿勢で取り組み、心身共にパワフルな職員に囲まれて生活している利用者の表情も明るく元気である。家族との信頼関係も充実している。また管理者自ら地域の町内会の班長として活躍し、地域住民との交流関係を構築している。地域密着型サービスを実践しているホームである。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	理念は、パンフレットや重要事項説明書に明記されている。市の担当者に運営推進会議、運営規定、介護予防法などホームの取り組み内容を相談しながら関係づくりを構築して改善されている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価の意義について職員と話し合い、意義を理解し自己評価に取り組んでいる。ケアに対するふりかえりの機会としてとらえ原点にたちもどりながら、改善課題に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	町内会長、民生委員、婦人会長、家族代表、利用者等の参加を得て開催されている。ホームの取り組み内容や利用者の生活ぶり等報告している。運営推進会議の指摘を受け、トイレにナースコールの設置等、意見が出されている。職員と話し合いナースコールをトイレに設置して具体的な取り組みの実践と検討をサービスの質の向上に活かすように取り組んでいる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	ホーム便りの配布と家族等の来訪時に暮らしぶりや、身体状況を報告しながら、意見や要望を聞くように努めている。感謝の言葉やトイレにナースコールの設置などの要望が出されている。出された要望等には即対応できるように努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入している。現在町内会の班長として、施設長は活躍しながら地域行事(夏祭り、十五夜)に参加している。近隣住民の方々との関わりも深く災害時の連携や協力関係ができています。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者と職員が共に寄り添い触れ合いながらその人らしく生活し、地域に密着したホーム運営を目指して開設時に職員と共に考えた理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関やホールに理念を掲示している。管理者は申し送り時や勉強会、日常生活の中で理念を生きた方針として語り共有しながら日々のケアに活かしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入して、現在班長として活躍しながら、地域行事(夏祭り、十五夜)に参加している。近隣住民との関わりも深く災害時の連携や協力関係ができています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義について職員と話し合い、意義を理解し自己評価に取り組んでいる。ケアに対する振り返りの機会としてとらえ、原点にたちもどりながら、改善課題に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会長、民生委員、婦人会長、家族代表、利用者等の参加を得て開催されている。ホームの取り組み内容や利用者の状況を報告している。看板設置の意見が出されている。職員と話し合い具体的な取り組みを検討している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者に運営推進会議や運営規定、介護予防法などホームの取り組み内容を相談しながら、関係づくりを積極的に行っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回ホーム便りの配布と家族等の来訪時に暮らしぶりや身体状況を報告している。遠方の家族には通信や電話で報告し、金銭管理は出納帳で管理し、チェックしてもらっている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等の来訪時に意見や要望を伺うようにしている。感謝の言葉を伝えられ、トイレにナースコールの設置の要望があり、対応する等運営に反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動はなく、離職者も少ない、職員、利用者、家族と馴染みの関係ができています。管理者は職員が意見を言いやすい雰囲気づくりを心がけており、職員と共にケアに努め離職や利用者の不安がないように取り組んでいる。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は資格や経験を考慮しながら交替で参加しており、伝達講習もされている。内部研修は応急手当等事例を通じた勉強会をしている。またヘルパー職から介護福祉士の資格取得職員もあり職員の質の向上に努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	谷山地区グループホーム協議会に加入しており、研修会に参加している。地域にある他のグループホームの職員と資料交換やホームの運営方法など意見交換をしながら互いにサービスの質の向上に向けて取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	居宅、病院、施設からの入居希望があり、面会见学などの段階を経て、手続き後体験入居等してもらい、本人が不安なく入居できるように取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者と寄り添い、その人らしくを大切にしながら日々の暮らしの中で(調理の仕方や味付け、諺、クラブ活動等)利用者から励まされたり教わったりするなど、学び支えあう関係を築いている。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者と日常生活を共にしながら、言動や表情から察するように努めている。また口頭で意思表示をしてくれる利用者もいる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の身体状況や希望、家族の要望をもとに、職員と話し合い、気づきや意見を出してもらい、それらを反映した本人本位の介護計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画を作成している。定期的な見直しと計画の遂行状況や効果を評価し、本人、家族、職員と話し合いながら状況に応じた見直しをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院受診や墓参り、個々の希望にそった外出の支援など本人や家族の希望や状況に応じて柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族の希望する医療機関と連携を取っており、適切な医療を受けられるように支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に対する指針を定めて、本人、家族、医師と話し合いを行っている。職員は重度化に対する勉強会をして方針を共有し前向きに取り組んでいる。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日常の関わりの中で利用者の尊厳を大切に、穏やかな声かけと態度で対応している。職員採用時の守秘義務の誓約書もある。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、就寝、入浴、レクリエーション、散歩など一人ひとりの体調や思いに配慮しながら利用者のペースで生活できるように支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は下ごしらえや配膳、下膳など出来る方と一緒に 行いながら、同じテーブルを囲んで、サポートしながら 楽しく食事をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわず に、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入 浴を楽しめるように支援している	週5日の入浴日が決められているが、本人や家族等か ら一人ひとりの習慣や好みを聞いて希望する入浴の支 援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一 人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみご と、気晴らしの支援をしている	習字、風船バレー、洗濯物たたみ、食事の準備、掃除 等利用者の趣味や特技を発揮できるように支援してい る。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその 日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援 している	日常的に買い物、公園での飲茶や散歩、ホーム周囲 のデッキで過ごすなど、ホームに閉じこもらない工夫を してる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵 をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけない ケアに取り組んでいる	管理者、職員は鍵をかけないケアを心がけており、本 人のプライバシーに配慮しながら、センサーときめ細か な見守りで自由な暮らしができるように努めている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより 地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署員の指導のもと昼間想定避難方法等 訓練をしている。災害時の備蓄もされている。		夜間想定時の非難方法や連絡体制等訓練の実施をお願 いしたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量、栄養バランスを把握している。身体状況に合わせてキザミ食やおかゆを提供している。また協力病院の栄養士に栄養バランス等をチェックしてもらっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るいホールの中に畳スペースの間があり、ソファが随所に置かれている。ホールや居室よりデッキに出られるようになっており季節の花々が植えられている。テレビ音、生活音、人の声、照明などに心配りが行き届いて居心地の良い共用空間である。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビ、籐椅子、洋服かけ、タンス、寝具、写真、自作の工作物等使い慣れた物品が持ち込まれて、それぞれ個性的な居室である。		